平成二十六年徳法寺報恩講のご案内

開催日　５月１１日　日曜日

次第

午前９時３０分　　正信偈のお勤め

草４句目下「弥陀成仏のこのかたは」次第６首です。

午前１０時３０分　法話　南砺市大福寺住職　太田浩史師

１９５５年富山県旧城端町生まれ。真宗大谷派大福寺住職の傍ら、となみ民藝協会会長、日本民藝協会常任理事を務める。柳宗悦と南砺の土徳、南砺と相馬の深いかかわりなどを、郷土史家として研究している。

正午　　御斎　　手打ちそば　更科藤井

午後１時　異ジャンルセッション～民話LIVE♪

フルート（クラシック）＆ギター（ワールドミュージック）＆ダルブカ（アラブやトルコ等中東の太鼓）による異ジャンルセッション。福島民話の朗読＆即興音楽のコラボレーションも。

午後2時　朗読劇　相馬移民奇譚

詳細については次頁をご覧下さい。

＊＊＊　休憩　＊＊＊

午後３時３０分　アフタートーク

太田浩史師　＆　原力男さん（朗読劇脚本）

朗読劇 小僧と首

相馬移民奇譚

～昔、加賀藩から相馬へ命懸けで国抜けした移民がいた～

朗読劇 小僧と首～相馬移民奇譚

昔、北陸から福島へ、たくさんの人が移民として渡って行きました。鶴来在住の劇作家　原力雄さんが、相馬移民の歴史を舞台化します。

江戸後期に発生した天明の大飢饉後、福島・相馬藩の人口は半分以下に激減した。相馬藩の密命を帯びて飴売りに身をやつし、加賀百万石の城下町・金沢へ潜伏した伏見儀助。彼は北陸から相馬へと大量の移民を手引きした後、とうとう加賀藩に捕まってしまった。困窮した農民を助けることは、はたして罪なのか？　磔刑に処せられた彼が、最後に残した言葉とは…。

能美市法林寺・金沢市民芸術村、金沢湯涌創作の森で上演、好評を博した朗読劇の四回目の上演となり

森内清敬
ダルブカ

荻野やすよし
ギター

上野賢治
フルート

原力雄　　高田伸一　　奈良井伸子　　新宅安紀子　　高田里美
脚本・口上　　劇団IIOSHOW　　ｽﾄｰﾘｰﾃﾗｰ　　劇団北陸新協　劇団IIOSHOW

イラスト：金津敦子

＊

ロビン・ロイドさん共作の絵本など販売します。

今年も社会福祉法人「ひびき」が、お茶･ラーメン･素麺などの販売をいたします。御家庭や親しい方へのお土産にどうぞ。
「ひびき」は、障がいのある人とない人が共に生きていける社会の実現を願いながら、就労支援を中心に活動している団体です。

当日販売を予定している商品は以下の通りです。

«お茶»　特上ほうじ茶
ほうじ茶入り麦茶ティーパック
玄米茶
抹茶入り玄米茶
煎茶　朝宮の里
煎茶　かりがね
煎茶　しがらきの峰
グリーンティー

お車で来られる方にお願いです。

徳法寺駐車場は台数に限りがあります。近隣のコインパーキング等をご利用いただければと存じます。コインパーキングの場所は、徳法寺駐車場隣、犀川大橋近辺や広小路交差点近辺に多数あります。